

つぼみだより

平成22年 1月号
NO/10
中高生の部

年が明け 新しい年を迎え早3週間 挨拶が遅くなりましたが「あけまして おめでとうございます」。新年がスタートし 冬休みが終わり・・・三連休が終わり・・・ようやく生活リズムが戻ってきました。少々お疲れモードだった子ども達の表情も落ち着いてきたように思います。今年の始まりは大雪からのスタートでしたね。大変な年明けではありましたが過ぎてみれば大変ながらも楽しかった出来事に・・・
どんな出来事も振り返ってみれば良かった出来事になると信じて、今年も私たち職員一同、子ども達とそして保護者の皆さんと一緒に歩いていきたいと考えています。今年も宜しくお願いします。



今月のすがた

年内最後の漬物販売が終わり、クリスマス会・冬休みの年越し・年明け行事等々、慌ただしくも多くの取り組みをした12月。この冬は小学生とともに行なう活動も多くありました。交流も兼ねたその関わりの中で小学生・中学生の持つ役割を意識できたら・・・という思いで取り組みました。



交流第一弾！まずは年内最後の漬物販売。小学部の作る五平餅と一緒に販売をしました。今までは中学生のみで行なってきたていましたが、「今日は小学生もいる」ということにみんなすぐに気が付き、何ともいえない緊張感。中学生として販売に向ける姿勢が“負けていけない”と、自然と次の役割の友達に渡す時の声が「はい!!!」とまるで旧つぼみで慌ただしさの中で威勢の良い声を出し合うスタッフのようでした。(笑)



正面から小学生が見ているということも大きく影響しているようで、「小学生の見本になる」をみんなが心に刻み、いつもの販売以上に「売る!!」を意識した姿でした。



さて、子どもが楽しみにしていた冬休みに入り、うどん作り・はつもうで・書初めなどの季節を感じる様々な行事にも取り組みました。子ども達は「今日はおうどんやね!」など活動に意欲的に来所してくれれます。季節の行事を感じて楽しむことはもちろんのこと、その中で必ず療育的な意味を持っています。中学生には未就学・小学生との関わりの中で未就学・小学生に順番を立てて教える・準備・片付けなどの裏方の仕事を役割として担当してもらいました。みんなで楽しむためには、自分の役割を果たすことが必要になってくる



こと、他者のために仕事を行なうことの大切さを体感できたと思います。お皿を片付け、部屋を掃除した後の「ありがとう!」を聞いて、何とも言えない中学生のはにかんだ笑顔。作り方を教えたいけどなかなか伝わらない・どうしようとする顔。「さすがやね」と言われたときの喜び。今年も交流の中で学ぶ気持ちを大切に育てていきたいと感じています。



今月から始まった新たな取り組み方法・七田式。周りでみんなが見る・一人ずつ前で取り組みを行なう方法で、順番を守りながら次の行動の見通しを持つ目的で行ないます。早速調理でこの方法を取り入れました。見て学ぶ、見る・見られる意識を持ち、一人ずつ行なうということと注目されているということで、緊張を感じている様子の子どもたち。いつもより作業のペースがゆっくりで丁寧に行なおうとする気持ちが見られ、特に姿勢を良く正そうとすることがありました。姿勢って大切ですね。がんばろうとする気持ちで取り組んでも、その姿勢を見て周りの人がどう捉えるか？社会に出たら常に周りの人に見られている中で働くこととなります。取り組もうとする気持ち（意欲）を姿勢で表すことができるようになるためにも今から子ども達に緊張感を感じて姿勢を意識しながら取り組めるようにと考えています。

移動支援

こんにちは！移動支援では、乗馬・自転車・プールを中心に子どもたちの身体と精神面でのバランスを図るように日々取り組んでいます。そこでよく感じることは、子どもたち自身が自分の身体の動かし方がとても不器用なこと。プールで思うように身体の力が抜けない、左右のバランスを保つ時にどう力を入れて抜くのが難しい・・・それでも取り組もうとする気持ち、何度も挑戦する気持ちを個別でスタッフがつくことで育めるように子どもの側と一緒に取り組んでいます。そのため一歩進む事がとっても嬉しい！のです。

今回は身体の不器用さについてのお話。一度お家で朝起きる時の子ども達をよ～く見てください。そして私たちがいつも起きる時の動きと何が違うか、子どもたちが起きる方法で起き上がってみてください。身体をころんと回す時にどの部位をどう使うのかが分からないために起きること一つでも必要以上の力を使っていることもよくあるそうです。朝起きるだけで力を使いすぎて疲れてしまう・・・なんて大変ですよね。そしてどうしたら、最小限の力で身体を動かして起きられるのか？そのためにどんな体操が必要か？を考え、移動支援で取り組みたいと思っています。



移動支援
平野千晴先生

一般社団法人光陽福祉会 局長就任おめでとうございます

～事務局長就任あいさつ～

浅野尚美は1月1日付け辞令交付により、一般社団法人光陽福祉会の事務局長に就任することになりました。会長と統括そして私の三人で始まったサポートセンターつぼみ。法人を独立させ、4月には20人規模の職員体制になります。どんなに、法人が大きくなろうとも、子ども一人ひとりあつての光陽福祉会です。子どもたちの将来をしっかりと背負い、会長と統括と三人一却で歩んでいきたいと考えています。今後ともご支援宜しくお願い申し上げます。

Kのひとこと

母子通園の女神、井原先生は見るからに穏やかで、優しいそう。でも本性は・・・優しいんだけど・・・？がつく（笑）事務所での会話。浅野局長「関西はやっぱり暖かいの？」K「そりゃ暖かいよ。こたつもないくらいだよ。ねっ井原先生」井原先生「うーん？私大分なんで・・・暖かいですよ」浅野局長「やっぱり大阪は肉まんおいしいの？」K「大阪と言えは55何とかやろー。ねっ井原先生」井原「いや、ちょっとわからないです」そう。井原先生は、無意識にKを否定するんです。そしてとんちんかんでおっちょこちょい。テンポの早いKに対し、かなりの天然との戦いは、理解不明。勝敗も不明。でも、子どもたちを真直ぐ肯定する井原先生はやっぱりつぼみの女神なのかもしれない。